

ETFは世界中で6,000銘柄以上が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は3.6兆ドル（約347兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2016年8月のETF資金流入

2016年8月は7月と同様、グローバルの投資家は米国や新興国株式および債券、社債を好む傾向が継続しました。ETF全体では398億ドルの流入となり、年初来の資金流入額は2,134億ドルとなりました。

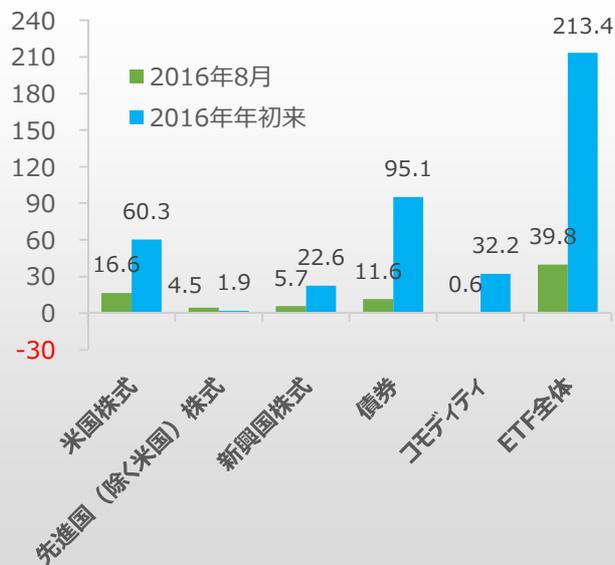
新興国株式全体を対象とするETFは、コモディティ価格の安定とドル安を受けて62億ドルの流入となり、3ヶ月連続の資金流入となりました。米国株式ETFは166億ドルの流入となり、その内訳は大型株に73億ドル、高配当株に14億ドル、優先株に11億ドルと、配当を求める動きが強まりました。金鉱株ETFも18億ドルの流入となりました。

一方欧州株ETFは継続して流出となりました。ヨーロッパ株式全体を対象とするETFから27億ドル、ドイツ株式ETFから11億ドルの流出となりました。

債券カテゴリーでは、新興国債券が19億ドルの資金流入となりました。年初来の流入は166億ドルと、既に過去最も資金を集めた2012年の年間83億ドルの記録の倍の流入を集めています。投資適格社債ETFの流入も単月で50億ドル、年初来からは292億ドルと昨年の記録を上回っています。

金ETFへの流入は弱まり、10億ドルの流入となりました。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

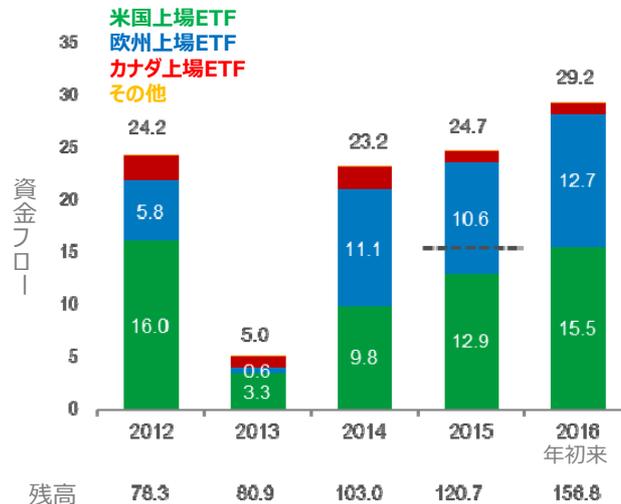


出所：「BlackRock Global ETP Landscape August 2016」

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向

【グローバルベースの投資適格社債ETFへの資金流入（単位：10億ドル）】



出所：「BlackRock Global ETP Landscape August 2016」

債券ETFの年初来の資金流入は951億ドルと、既に昨年1年間の流入額である868億ドルを8月の時点で上回っています。その中でも、投資適格社債ETFは資金流入に大きく貢献しています。このカテゴリへ資金が集まった背景を以下に纏めます。

- 1) リスクをとって利回りを求める投資家は、当該カテゴリを低金利およびマイナス金利の環境下における数少ない比較的信用力の高い利回り商品として注目している
- 2) 中央銀行の社債買い入れプログラム等が実施され、今後更なる追加が期待され堅調な需給が見こまれる中、欧州上場の投資適格社債ETFへの資金流入は、ETF設定来最も資金流入を記録した2015年の記録を上回っている
- 3) 差し迫った話ではないが、今後米国の連邦準備制度は引き続き利上げを示唆する可能性が考えられ、投資適格社債は米国国債と比較し、リスクに見合ったより高いインカムゲインを提供することから、利上げによるキャピタルゲインへの負のインパクトを一部軽減する効果が注目されている

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認下さい。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

iShares®
by BLACKROCK®

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） www.blackrock.com/jp/ishares
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号
加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。